

一筆啓上

作左通信



第六八号

平成十二年十一月九日(木)発行

十月二十二日(日)、さわやかな秋晴れのもと、六ツ美西部学区社教委員会主催の会協賛「二〇〇〇学区ふれあいウォーク祭り」が催されました。この行事は、二年前六ツ美西部小学校が行った「学区フィールドワーク」がもととなっています。社教委員会が主催となったのは昨年から。学区の名所を訪ね、地域のふれあいを目的に行われるようになってきました。

それぞれの地点で、持っているコース地図に係の人からスタンプを押してもらったことになっています。各チェックポイントは大変趣向が凝らされていました。くじ引きやクイズがあったり、親子でダーツやグラウンドゴルフをしたり、作左の会が栽培したコスモスの花摘みをしたりするなど、家族みんなで楽しめるコーナーがたくさんありました。また、消防署の方にも協力していただき、小学校で「起震車」による地震体験をすることができました。

体験した子供たちからは、「震度七が、こんなにすごい揺れだとは思わなかったよ」「地震ってほんとうにこわいものだよ」ということがよくわかったよ」などの意見が聞かれ、地震のすごさを実感することができたようでした。

参加された地域の方からは、「本多作左衛門の生誕の碑が、犬頭神社のところにあるとは知らなかったです」「六ツ美西部学区にはいろいろな史跡があることが歩いてみてはじめて分かりました」「とても勉強になりました。子供と歩いて西部学区の新たな面を発見できたように思います。来年もやってほしいです」など、大変よかったという意見が多く聞かれました。学

区に住んでいても、歩いてみると、意外に知らないことが多くあることに気付きます。

最近、各地でウォークラリーが様々な形で行われています。「作左の里」で催された「ふれあいウォーク祭り」も、その一つとして今後も新たな趣向で続けられることができればと考えられています。地域とのふれあいを大切に行っているこの行事を、作左衛門もさぞ喜んでいることでしょう。

